

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】令和1年7月4日(2019.7.4)

【公開番号】特開2017-209810(P2017-209810A)

【公開日】平成29年11月30日(2017.11.30)

【年通号数】公開・登録公報2017-046

【出願番号】特願2016-102759(P2016-102759)

【国際特許分類】

B 4 1 J 11/42 (2006.01)

B 6 5 H 9/14 (2006.01)

B 4 1 J 2/01 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J	11/42
B 6 5 H	9/14
B 4 1 J	2/01

4 0 1

【手続補正書】

【提出日】令和1年5月20日(2019.5.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項11

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項11】

請求項1に記載の記録装置であって、

前記制御手段は、前記ニップ部を前記先行記録媒体が通過する前に、前記後続記録媒体に対して前記斜行矯正を実行する場合、前記斜行矯正を開始してから、前記記録動作を終了するまでの時間と、前記斜行矯正に要する時間のうちの長い方の時間の間、前記ローラ対を停止する、

ことを特徴とする記録装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0023

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0023】

記録装置100は、MPU201を備える。MPU201は、記録装置100の各構成の動作を制御可能であり、また、データの処理なども行うプロセッサである。MPU201は、後述するように、先行シートの後端部と後続シートの先端部とが重なるように記録シート1の搬送制御を実行可能である。ROM202は、MPU201によって処理されるプログラムやデータを格納するROMである。RAM203は、MPU201によって実行される処理データ及び情報処理装置214から受信した記録データを一時的に記憶するRAMである。なお、ROM202、RAM203に代えて他の記憶デバイスを用いることも可能である。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0027

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0027】

情報処理装置214は、例えば、パソコン、携帯端末（例えばスマートフォンやタブレット端末等）であり、記録装置100のホストコンピュータとして機能する。情報処理装置214は、CPU214aと、記憶デバイス214bと、I/F部（インターフェース部）214cとを備える。CPU214aは、記憶デバイス214bに格納されたプログラムを実行する。記憶デバイス214bは、RAM、ROM、ハードディスク等であり、CPU214aが実行するプログラムや、各種のデータを格納する。記憶デバイス214bには、記録装置100を制御するためのプリンタドライバ2141が格納されている。プリンタドライバ2141の実行によって、情報処理装置214は、記録データを生成可能である。情報処理装置214と記録装置100とは、I/F部214c、I/F部213を介して、データの送信及び受信が可能である。

【手続補正4】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図5】

